

03

造形演習Ⅰ

1. 平面造形 2. 立体造形

開講年次：学部1回生 前期

[担当教員]
藤原洋次郎（川崎医療福祉大学教授）

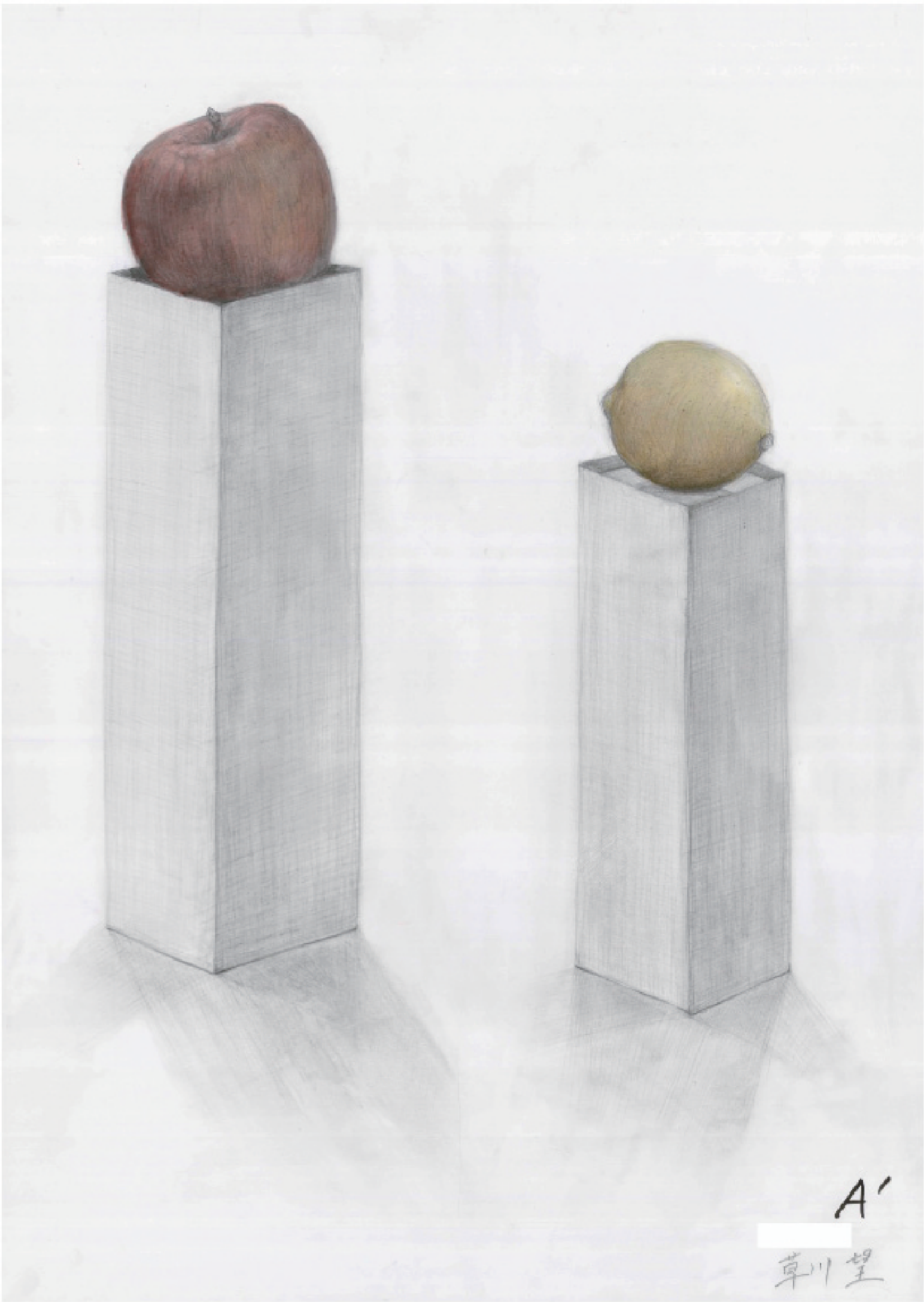
■課題1「鉛筆デッサン基礎」

- ・2つの静物（ティッシュ箱・レモン）を鉛筆によりドローイングする。
- ・位置決め、形づくり、表情の付けかた等鉛筆デッサンの基本を学ぶ。

■課題2「彩色デッサン基礎」

- ・リンゴとレモンがのる2つの直方体を鉛筆デッサンし、着色する。
- ・彩色による表情や陰影、明暗の付け方等水彩デッサンの基本を学ぶ。

草川 望（課題2「彩色デッサン基礎」）



（課題1「鉛筆デッサン基礎」）

[担当教員]
藤岡智紀（造形家）

■課題1：イメージを形にする

- ・イメージをどのように形にするかを研究する。

■課題2：卵の造形

- ・ニワトリの卵を観察し、固めた石膏で本物と見分けられないまで彫刻する。
- ・上記制作過程をレポート提出。（A4/4枚）

■課題3：自然物の造形

- ・形に興味のある自然物を観察し、その中の美しさをスタイロフォームで再現する。
- ・上記制作過程をレポート提出。（A4/4枚）

学生作品（課題2「卵の造形」）



藤原加奈（課題3「自然物の造形」）



[担当教員]

藤原洋次郎（川崎医療福祉大学教授）

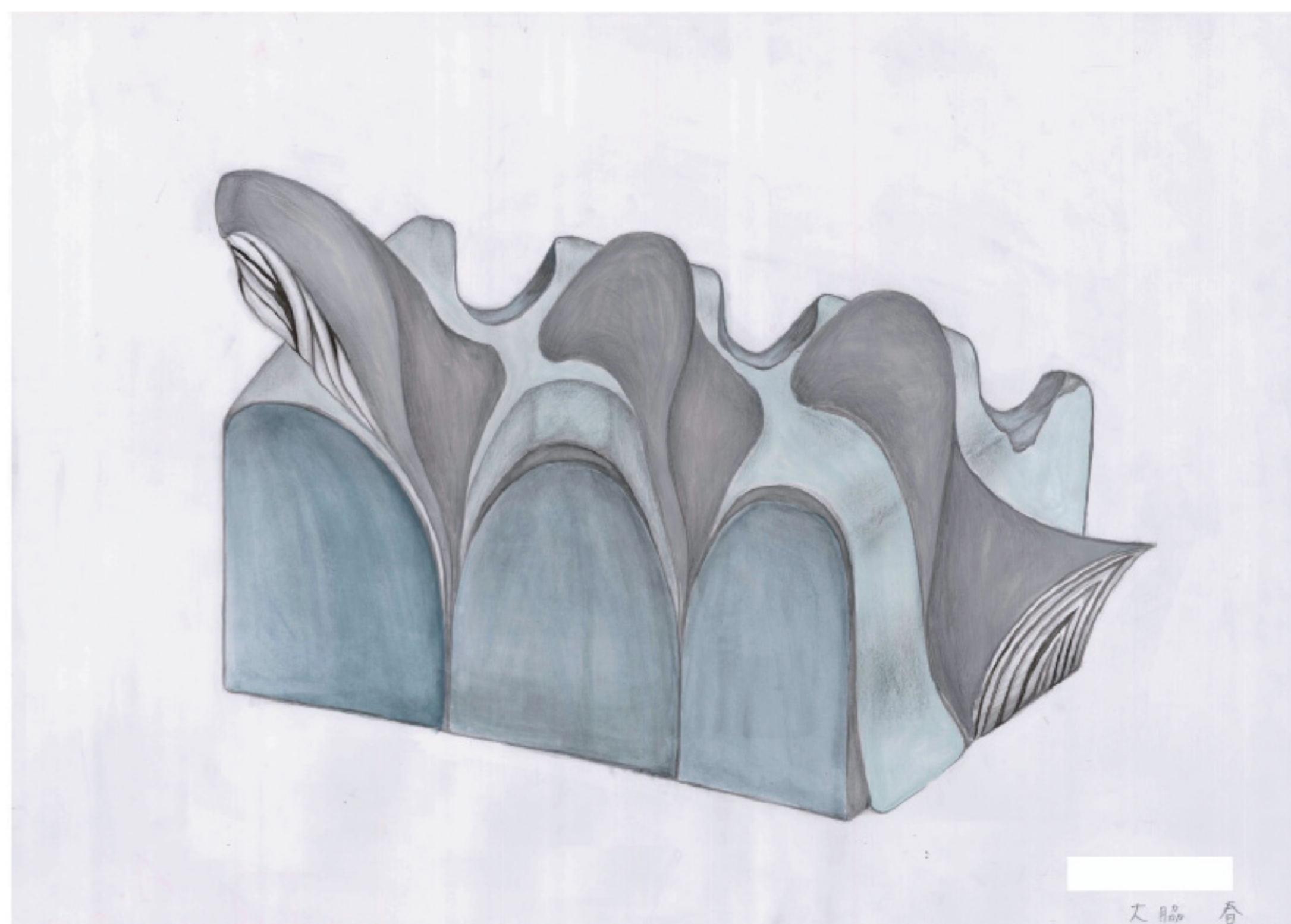
■課題1「着彩デッサン」

- ・リンゴと卵がのる2つの直方体を鉛筆デッサンし、着色する。
- ・彩色による表情や陰影、明暗の付け方等水彩デッサンの基本を学ぶ。

■課題2「間の空間構成」

- ・身近にある自然物や人工物等から抽出スケッチした興味あるかたちに、単色で彩色した10cm角の正方形を組合せて空間構成する。
- ・省略、強調、間を工夫し、構成がいかにより作品をカッコ良くさせるかを研究する。

大脇 春（課題1「着彩デッサン」）



宮田舞子（課題2「間の空間構成」）



[担当教員]

藤岡智紀（造形家）

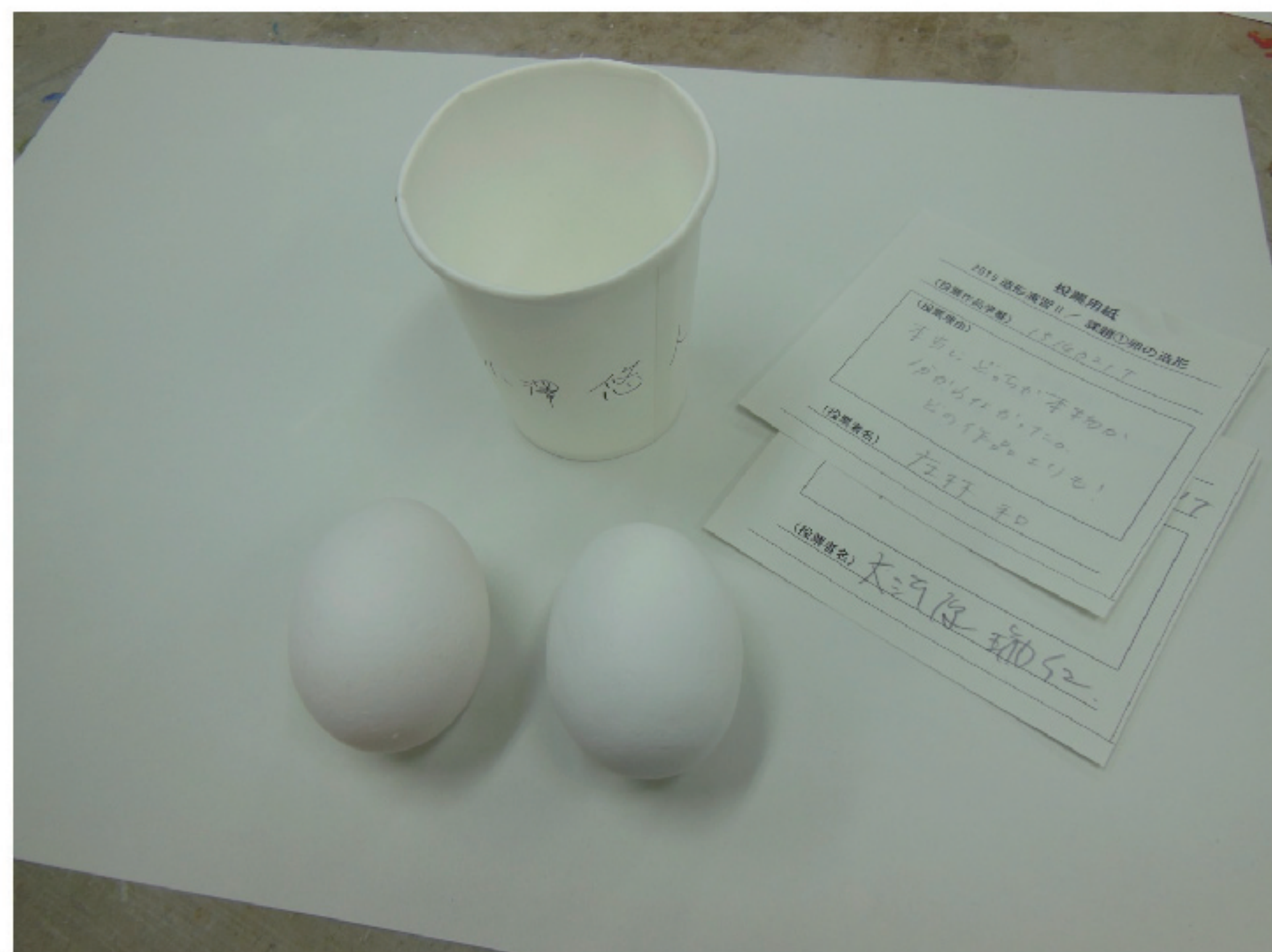
■課題1：卵の造形

- ・ニワトリの卵を観察し、固めた石膏で本物と見分けられないまで彫刻する。
- ・上記制作過程をレポート提出。（A4/4枚）

■課題2：座の空間造形

学内のある場所を選び、その空間に「座」をテーマに制作する

学生作品（課題1「卵の造形」）



学生作品（課題2「座の空間造形」）

